

市民活動・ボランティアを始めたい人にも…

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS

2006年 3月号
平成18年2月25日発行
通巻87号



◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
http://www1.mienpo.net/npot
三重県のホームページ
http://www.pref.mie.jp

市民活動・ボランティアニュースは
こちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターハルス3階) / オールウェイズ(津センターハルス1階) / 津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央) / (有)デザインオフィス萩野(津市大谷町301-1) / 市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15) / 南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内) / 特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2) / 鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8) / 特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市田町33) / 四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17) / 寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19) / ウィリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(伊賀市上野福居町3317) / みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階) / 伊賀市中央公民館 / 伊賀市立図書館 / 上野青年会議所 / 名張市立図書館 / 名張青年会議所 / 皇学館大学名張キャンパス / 名張市総合福祉センター / エコソート赤目の森(名張市上三谷268-1) / 明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5) / 三重中央大学(松阪市久保町1846) / 松阪市市民活動センター(松阪市日野町788) / 名張市市民活動センター(名張市夏見2812) / 松阪まちづくりセンター「まちの駅松阪「寸庵」」(松阪市本町2217) / 伊賀市市民活動支援センター(伊賀市馬場1128番地) / くらしの情報センター同夢(名張市夏見251-1パークシティなばり) / 伊勢市民活動センター(伊勢市岩瀬1丁目2-29)

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関】百五銀行各店 / 三重銀行各店 / 東海労働金庫各店 / 第三銀行各店

【行政機関等】三重県庁市民ホール(津市広明町13) / 三重県地域機関(各県民局)(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南) / 三重県民サービスセンター(情報公開窓口) / 三重県総合医療センター / 三重県立一志病院 / 三重県立志摩病院 / 三重県立こころの医療センター / 斎宮歴史博物館 / 三重県立博物館 / 三重県立図書館 / 三重県生涯学習センター / 三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」 / 三重県人権センター / 三重県身体障害者総合福祉センター / 三重県環境学習情報センター / 各市町村役場

亀山市から発信!! 市民参画講演会「“やりたい活動”から“求められる活動”へ」

●とき/3月3日(金)PM1:30~PM3:30 ●参加費/無料 ●募集人数/70人(要事前申込)
●ところ/亀山市総合保健福祉センター2階研修室(亀山市羽若町545)
●内容/「これがやりたい」という思いを持って始めた市民活動。地域社会から本当に「求められる活動」をしているかと問われれば…。主体的・自発的に柔軟な社会サービスを提供する市民活動が地域住民や地域社会から真に求められる活動とは何かを学び、地縁組織(自治会・コミュニティなど)や行政との関係を整理しつつ、市民主体のまちづくりへつなげていくための講演会を開催します。当日は、年間150回以上、行政職員研修、NPOマネジメント研修等幅広いテーマの講演・ワークショップを行い、全国を飛び回って活躍されている特定非営利活動法人 せんだい・みやぎNPOセンターの代表理事 加藤哲夫さんを講師としてお招きします。市民活動、自治会・コミュニティ活動を日頃行っており、地域に根ざした活動をもう一歩進めたい方はぜひご参加ください。

●応募締切/3月1日(水) ●申込方法/電話、Fax、E-mailにて。
●申込・問い合わせ先/519-0195 亀山市本丸町577番地 亀山市市民課市民参画女性係(担当:渥美・松岡) Tel.059-84-5007 Fax.0595-82-1434
E-mail shimin@city.kameyama.mie.jp



加藤哲夫さん

みえ市民活動ボランティアセンター職員募集!

平成18年4月1日から勤務をしていただける嘱託員(市民プロデューサー)を募集します。仕事の内容は、みえ市民活動ボランティアセンターに勤務し、みえ県民交流センターの管理運営業務を通して市民活動のサポートを行っていくことです。市民活動やボランティアに興味のある方は、ぜひ、以下までお問い合わせください。

●募集職種 / 1、みえ県民交流センター嘱託員 2、市民活動嘱託員
●勤務内容等 / 1、7人の交代勤務で、昼間は1日8時間、夜は5時間の勤務となります。昼間は1人体制、夜間と土日祝日は2人体制となります。 2、月16日以内で1日8時間勤務となります。主にHP作成等、市民活動情報ネットワーク運営に関する業務を行っていただきます。
●受付期間 / 平成18年2月27日(月)~平成18年3月6日(月) (申込多数の場合は、締切を早めます)
●受付時間 / 平日AM9:30~PM5:00 ●面接予定日 / 3月9日(木)
●問い合わせ先 / 津市羽所町700 アスト津3階 県生活部NPO室 Tel.059-222-5981

つながる 11 県ボランティアセンター コーディネーター 北出真由美

私が所属しているのは「三重県社会福祉協議会」という民間団体です。この団体名に登場する「福祉」という言葉に皆さんはどんな印象を持っていますか。

先日、ある研修の中で「福祉」と言う言葉に抵抗を感じる人が多いということを聞きました。その理由としては「特別なもの」「範囲がせまい」「イメージが暗い」などがあがってきます。実は、私もこの職場に勤務し始めた時はそう思っていました。あるセミナーへ参加した時の所感でも『多くの人は、もしかすると、「福祉」と言う言葉に何かひっかかりを感じるのかもしれない。』と書いています。この『多くの人』にはもちろん自分も含まれています。

では、今の自分はどう思っているかというと、「特別なもの」に対しては、「いやいや普段のことでしょう。」となり、「範囲がせまい」に対しては「全体なんだけどなあ。というか基礎なんだけどなあ。」「イメージが暗い」に対しては「ん~それは、確かに。暗いというか、地道かも。でもその先が明るいんだけどなあ。」となります。まさに「ふくし」=「ふだんのくらしをしあわせに」です。1年間で大変身です。そして、変身すると同時に、「なぜなぜ」を繰り返しています。「なぜ、特別で、狭くて、暗く思うのか。」「なぜそれが、普段で、基礎で、明るいに変わるのか。」この成果をもとに、より多くの人に真の「福祉」を伝え、実感してもらいたいと思っています。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。

市民同士が話し合うことの大切さ—NPOと自治会との連携 ～「新しい時代の公」県民円卓会議の報告～

これからの地域づくりはどのようにすればいいか?いい地域づくりのために、自治会やNPOはどう連携できるのか?「これからの地域を担う住民像を考える」をテーマに、三重県とNPO法人市民社会研究所が共催で、2005年10月から12月にかけて、県内6箇所で開催した「新しい時代の公」県民円卓会議を開催しました。

「新しい時代の公」とは、多様な主体と一緒に話し合いながら、自分たちにとって本当にいい公共領域を創っていくということです。従って、それに関わる主体が「率直に、前向きに、話し合うこと」が最も大切なことなのです。しかし地域を担うリーダーである自治会とNPOは、行政との関係では同じ市民同士でありながら、これまで相互の関係づくりについて話し合う機会はほとんどありませんでした。「新しい時代の公」県民円卓会議は、文字どおり「新しい時代の公」を知ってもらうことを目的としたものですが、今回の取組を通じて、市民同士の話し合いを促進するためのきっかけづくりの場ともなりました。これは、おそらく県内では初めての試みです。

当初は、NPOと自治会の方とではうまく話が進まないのではという心配もありましたが、実際にやってみると、決してそんなことはありませんでした。以下、少し内容を紹介します。

地域では、在住外国人が増えてコミュニケーションが難しくなっているところや、プライバシーや個人情報保護意識の高まりで、地域の中の高齢者、障害者などの弱者の情報が集めにくくなっているところがあります。また防災意識の高まりの中で、自主防災などの動きが活発になっています。地域の宝である子どもの育つ環境を何とかしなければという強い思いもあります。これらの課題や問題意識は、自治会とNPOとを結びつけるのに十分でした。

例えば災害のとき、まず必要なのは隣近所の助け合いです。一

時の災害を乗り切った後は、災害ボランティアやNPOの活動が力を発揮します。地域の自主防災活動の指導を行っているNPOもありました。

地域の中で生活に困りごとのある高齢者や障害のある人がいる場合、隣近所でお世話をするには荷が重過ぎる場合があります。しかし、地域にこんな人がいるという情報を地域から引き継いで、さまざまなサービスの手を差し伸べているNPOもあります。

子どものたまり場を地域でつくっている自治会もあれば、それができない地域のために、子どもの居場所をつくっているNPOもあります。子どもの目を地域の外にも広げるため、里山に子どもを連れて行ってさまざまな体験をさせるNPOもあります。

地域全体に目を配るNPO、それぞれの専門性を生かして活動するNPOがうまく連携すれば、もっともっといい地域づくりが可能になることを感じさせてくれました。しかし、NPOは自治会の方々によく知られていないこともわかりました。NPOはもっと活動をアピールし、地域の信頼感を高める必要があるようです。

参加者のアンケートをみると、76.7%の方が「参加してよかった」と答え、約70%の方が「自分の地域でもこのような話し合いをしてみたい」と回答しています。この成果は、県内の市町にも伝える機会をもちました。これから県内各地で、地域づくりについて話し合いがもたれることを期待しています。

●問い合わせ先/NPO法人市民社会研究所 Tel.059-363-3539

ホームページ <http://www.geocities.jp/ssk21ww/>



みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は5団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備置いております。

●認証申請団体

- (1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地
- (1)子育て支援NPOぽかぽかはうす(2)原坂一郎(3)名張市百合が丘東6番町107番地/(1)祐里(2)平田みどり(3)鈴鹿市白子4丁目3番6号/(1)エールの会(2)長島秀子(3)松阪市朝日町363番地5/(1)世界寛水虚空手道(2)森山幸則(3)松阪市郷津町367番地2/(1)らいふ(2)藤野逸郎(3)名張市中知山字下出897番25

(平成18年1月15日～平成18年2月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人多文化共生NPO世界人(平成18年1月11日)/特定非営利活動法人こどもの安全を守る会コア(平成18年1月11日)/特定非営利活動法人とんぼ池山荘(平成18年1月18日)/特定非営利活動法人NAN(平成18年1月10日)/特定非営利活動法人アポーヨブラジル(平成18年1月16日)/特定非営利活動法人あいプロジェクト(平成18年1月20日)/特定非営利活動法人優(平成18年1月18日)/特定非営利活動法人さくら(平成18年2月1日)

(平成18年1月15日～平成18年2月14日届出分)

イベントスケジュール

第2回 多文化共生社会づくり講座 —未来のために、今できること

- とき/3月7日(火)PM1:30～PM4:30
- ところ/県伊賀庁舎7階大会議室(伊賀市四十九町2802)

●参加費/無料(申込不要)

●内容/外国人の子どもの中には言語、生活習慣の違いなどにより、学校へ行かない、行けない、行っても授業についていけないという子どもたちがいます。未来を担う子どもたちが、十分な教育を受けないまま社会に出て行くということは、健全な地域社会に少なからぬ影響を与えます。外国人の子どもも地域社会の一員として、未来に夢や希望をもって暮らせるよう、教育環境を始めとした外国人の子どもたちを取り巻く環境について考えましょう。第一部は岐阜県可児市教育委員会、外国人児童生徒コーディネーター、小嶋祥美さんによる講演「可児市における外国人の子どもたちの教育環境について」。第二部は「伊賀地域の外国人の子どもたちの取り巻く環境について」パネルディスカッションを行います。

●問い合わせ先/伊賀県民局生活環境森林部生活環境室生活労働グループ Tel.0595-24-8137

Fax.0595-24-8112 E-mail gseikan@pref.mie.jp

ホームページ <http://www.pref.mie.jp/GSEIKAN/HP/>

●第3回●セント・パトリックスデーパレード伊勢

- とき/3月11日(土)正午集合(雨天決行)
- ところ/伊勢神宮外宮まが玉池付近集合

●参加費/無料

●内容/「伊勢志摩の特産物(みえのカキ)と、アイルランドのカキの交流から相互の食文化交流を目指し、アイルランドのお祭りを通じて伊勢志摩とアイルランドの友好」につなげてゆきます。アイルランドの国花(シャムロック)とアイルランドカラーの「緑色」を身につけ、春の訪れを祝い、音楽と踊りに彩られた緑の国(アイルランド)のお祭りを伊勢市内にてパレードします。どうぞ、ご覧ください。また、ボランティアスタッフも募集しています。事前にご連絡ください。

【同時開催 カキのアイデア料理コンテスト】

- とき/3月11日(土)PM1:30～PM3:30
- ところ/伊勢市駅前広場(天候状況により高柳商店街へ移動)

●内容/来場者の投票で各賞が決定。投票者には粗品をプレゼント!詳しくはホームページ(<http://www.pref.mie.jp/NHOKEN/kaki/contest.htm>)をご覧ください。

●申込・問い合わせ先/伊勢市岩渕2-3-14(遊酒β内) アイリッシュ・ネットワーク・ジャパン伊勢パレード実行委員会
Tel.0596-27-3222



貸切バスで行く! 第2回 三交クリーンアップ・ウォーク

●とき/3月11日(土)(小雨決行)

集合場所	近鉄四日市駅西口	生桑車庫	津駅サンルート前	松阪三交百貨店前
出発時間	7:10	7:25	7:20	8:10
帰着時間	18:45	18:25	18:30	17:40

※各地とも出発時間5分前にお集まりください。

※生桑車庫はパーク&ライドが可能です。

●ところ/熊野市(浜街道・松本峠)

●参加費/2000円(要予約・当日徴収)

●内容/三重県を代表する観光資源である世界遺産熊野古道。熊野古道の中でも人気の高いコースである浜街道(約2km)と松本峠(約2km)を清掃します。また、花の窟にて「語り部友の会」会長の花尻氏によるお話があります。

●持ち物/軍手、飲み物、雨具(昼食弁当、お茶、ゴミ袋はご用意します)

●募集人数/80人(小学生以上・先着順)

●企画・運営・申込・問い合わせ先/三重交通清掃隊事務局
Tel.059-229-5511(平日AM9:00~PM5:30)



昨年の様子。ツツラト峠にて。

緑が輪サロン2005 第4回

地域でモテるおやじになれ!~おやじパワーが地域をつくる~

●とき/3月12日(日)PM1:30~PM3:30

●ところ/津市市民活動センター会議室1

●参加費/500円(当日払い、お茶・お菓子付)

●内容/「緑が輪サロン」では、市民活動をしている方に、活動を始めたきっかけや現在の活動について、これからの夢などのお話をお聞きます。今回は、「会社や仕事」から「地域」にも目を向け、豊かで安全な地域をつくる活動をしている津市一志町にある「高野おやじの会」の皆さんをゲストに迎えます。「おやじの会」では、お父さんの居場所作りをしながら、子ども会への協力・地域の行事への協力参加から全国おやじサミットの参加・大人の学校(夜学サロン)の開催も行っています。

●申込・問い合わせ先/津市大門7-15 津センターパレス3階 津市市民活動センター Tel.059-213-7200

Fax.059-213-7201 E-mail tsusimin@zvtv.ne.jp

ホームページ <http://www.zvtv.ne.jp/tsusimin/>

発達障害支援講座ミニ「子どもの歯の発達」

●とき/3月16日(木)AM10:00~AM11:00

●ところ/なや学習センター会議室2(四日市市蔵町4-17)

●参加費/無料 ●募集人数/30人(要申込)

●内容/歯科医師の岩崎宏先生、江尻竜一先生のお話を聞き、発達の気になる子どものたちの歯の発達・健康について学びます。

●主催・申込・問い合わせ先/NPO法人 四日市・子ども発達支援センター Tel.&Fax.059-348-2905 E-mail y_kodomo_siencenter@rabbit.livedoor.com ホームページ <http://www16.plala.or.jp/kodomo-yokkaichi/>

NPO法人事業報告書類の説明会

●とき/3月20日(月)AM10:00~PM4:00

●ところ/みえ市民活動ボランティアセンター会議室(津市羽所町700アスト津3階)

●参加費/2000円(資料代、その他) ●応募締切/3月15日(水)

●内容/事業報告書類は事業報告と会計報告からなります。事業報告は実施したことをまとめればよいのですが、会計報告の書き方、まとめ方に困られる方が多いようです。そこで会計事務所の安田先生にわかりやすくお話いただけます。また、経営士である松永先生からパソコンの活用について簡単に説明いただけます。

●申込方法/住所、氏名、電話番号を、FaxかE-mailで下記まで。

●申込・問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター NP O室 Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

●主催/NPO法人MSC中部 Tel.052-651-1587



癒しの子育て(抱っこ法)に関する講演会

「子どもは、ママに恋してる!!」

~親子で共に...癒しの子育て~

●とき/3月26日(日) AM10:30~正午

●ところ/伊勢市福祉健康センター2階娯楽室(伊勢市駅より徒歩約10分 伊勢市立図書館隣)

●参加費/無料 ●応募締切/3月15日(水)

●内容/講師は日本抱っこ法協会理事、ぴっかりさんこと萩原光さん。子育ては楽しいもの。でも泣かれたり、ダダをこねられたりすると、幸せな気分はたちまち吹っ飛び、ついイライラモードに...。こんなとき親としては、ぐっとガマンしなければいけないのでしょうか。子どもにガマンを強いるのではなく、かといって親だけがガマンするわけではない、共に手を取り合って成長していけるような子育てのコツをぜひ学んでいってください。

●募集人数/定員200人(有料託児有:3月10日までに申込)

●申込・問い合わせ先/伊勢市社会福祉協議会小俣支所(小俣保健センター内) Tel.0596-27-0509

Fax.0596-27-0570

ネットワークのよびかけ

青年国際交流事業参加者募集

諸外国の青年との交流を通じ、相互の友好と理解を深めるとともに、広い国際的視野と国際協力の精神を身につけた次代を担う青年を育成することを目的として実施されている事業です。

●募集締切/3月20日(月)必着

●事業内容(訪問国と実施期間)/【1 国際青年育成交流】

バルト三国(エストニア、ラトビア、リトアニア)、カンボジア、ドミニカ共和国、ミャンマー、チュニジア(内1カ国)平成18年8~9月(20日間程度)

【2 日本・中国青年親善交流】

中国 平成18年9月(20日間程度)

【3 日本・韓国青年親善交流】

韓国 平成18年9月(15日間程度)

【4 世界青年の船】

オーストラリア、ソロモン諸島、トンガ(中近東、アフリカ、ヨーロッパ、北米、中米、南米、オセアニア等地域の青年約140人と船内で共同生活をしながら各国を訪問)平成19年1~3月(45日間程度)

【5 東南アジア青年の船】

ブルネイ、インドネシア、マレーシア、シンガポール、ベトナム(ASEAN10か国の青年約300人と船内で共同生活をしながら各国を訪問)平成18年10~12月(50日間程度)

●参加対象/18~30歳までの青年。全事業ともに、若干名募集

●参加負担金/1~3は航空機による海外派遣、参加負担金約8

万円。4～5の参加負担金約20万円。

申込方法 / 参加申込書および、事業の活動で何をしたいか、帰国後、どのようにいかすかをテーマに作文を書いて、下記まで郵送または持参。3月28日(火)三重県青少年育成室において書類審査、面接、英会話試験を実施のうえ、事業参加候補者として内閣府に推薦します。その後、内閣府により、最終選考が行われます。

申込・問い合わせ先 / 514-0009 津市羽所町700アスト津3階 みえ県民交流センター内 三重県生活部青少年育成室 Tel.059-222-5986 ホームページ(内閣府) <http://www8.cao.go.jp/youth/koryu1/htm>

国際貢献フェスタinみえ2006実行委員会メンバー募集

国際貢献フェスタは、地域でおきていること、世界でおきていることを伝えていこうと、2004年から開催しています。今年のテーマは「行動する」。世界のことや地域のことに関心のあるあなた、国際貢献に関心のあるあなた、ボランティアをしてみたいと思うあなた、一緒にすばらしいフェスタを創りましょう。なお、締切後に、お申し込みいただいた方を対象とした説明会を行います。

【国際貢献フェスタinみえ2006】

とき / 11月18日(土) 19日(日)

ところ / アスト津 応募締切 / 4月14日(金) 必着

対象 / プログラムの企画づくり、準備、実施、会議への参加などに積極的に関わっていただける方。学生か社会人か、あるいは国際分野に携わっているかなどは問いません。

申込方法 / 募集要項などの詳細は、以下のホームページをご覧ください。お問い合わせください。

申込・問い合わせ先 / 514-0009 津市羽所町700 アスト津3階 三重県生活部国際室 Tel.059-222-5974 Fax.059-222-5984 E-mail kokusai@pref.mie.jp ホームページ www.pref.mie.jp/kokusai/hp

タウンミーティング共催団体募集

タウンミーティングとは、大臣、副大臣などが皆さんの街を訪れ、直接意見を聞き、また皆さんに直接語りかけることで、内閣の様々な政策に対する国民の理解を深め、また国民の皆さんが政策形成に参加する機運を盛り上げることを目的に全国各地で開催されているものです。平成14年以降は、国民の皆さんの参加意識を一層高めていただけるよう、各地で活発に活動されている各種団体(まちおこし団体、NPO、地域の商工会・商店会、青年会議所、高校・大学のサークル、学園祭実行組織、地元のテレビ局、都道府県・市町村などの自治体など)から企画案を募集し、これを基に提案団体と政府が共催するタウンミーティングを行っています。

応募期間 / 締切は設けませんが、開催準備には少なくとも3か月程度要するため、早めの応募をお願いします。

応募書類 / 1、企画・団体の概要。2、タウンミーティングの企画書。詳細はお問い合わせください。

応募方法 / 郵送。

問い合わせ先 / 100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1 内閣府大臣官房タウンミーティング担当室「共催団体募集係」 Tel.03-3581-1556

ばりふりお伊勢さんお参りサポートボランティア募集

伊勢神宮(内宮)は片道800m(往復1.6km)の砂利道と正殿前には30数段余りの階段があります。神宮参拝時のサポートを依頼する観光客は年々増えており、遷宮に向けてますます需要は増えると予測します。そこで、内閣府の事業で発足しました「ばりふりお伊勢さんお参りサポートボランティア検討会」では、障害者、高齢者が伊勢神宮参拝をするために、地元ボランティアによる組織をつくり、神宮参拝はもちろん、伊勢志摩の観光を満足していただくための一役を担いたいと考え、期間限定の社会実験として、参拝に來られ

る体の不自由な方たちに介助サービスを実施します。期間中、参拝を介助していただくボランティアスタッフを募集いたします。

とき / 3月17日(金)～3月26日(日)AM10:00～PM1:00 PM1:00～PM4:00(何時間でも可。期間中、一日でも参加していただくと助かります)

ところ / 伊勢神宮内宮と周辺 応募締切 / 3月10日(金)

ボランティア内容 / 伊勢神宮内の車椅子、視覚障害者の参道介助。荷物持ち。神宮の案内。手話で神宮の案内など。

申込方法 / 名前、年齢、性別、住所、電話、Fax、E-mail、伊勢神宮内宮周辺までの交通手段、得意な分野、参加できる日と時間を明記し、FaxまたはE-mailで申込。

問い合わせ先 / NPO法人 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター Tel.0599-21-0550 Fax.0599-21-0585

E-mail isheshima@barifuri.com

主催 / ばりふりお伊勢さんお参りサポートボランティア検討会

「志摩ロードパーティーハーフマラソン2006」ボランティアスタッフ募集

全国から2000名ものランナーが参加する「志摩市ロードパーティー」にボランティアスタッフとして参加してみませんか?。風光明媚な志摩の地を走る「マラソン」、郷土色豊かなお祭りを体感できる「お祭り広場」、そして志摩の味覚を楽しめる「にぎわかし市場」も同時に開催されます。なお、前日には前夜祭も開催。志摩ならではの味覚を満喫し、全国から集まった選手たちやゲストランナーとの交流を楽しんでください。詳細はお問い合わせを。

応募締切 / 3月27日(月) 必着

とき / 4月23日(日)AM9:00～PM4:00(雨天決行)(AM9:00ボランティアミーティング AM10:00開会式)

ところ / 志摩スペイン村特設会場内受付テント(志摩市磯部町坂崎 Tel.0599-57-3511)

活動内容 / 【給水ポイントヘルパー】募集人数40人程度。コース上の給水ポイントで選手に水分をとってもらうためのサポート。

【ゴミ分別ナビゲーター(兼)受付・記録係】募集人数10人程度。会場内エコステーションで来場者がゴミを分別する際のサポートやリサイクルの呼びかけ。またスタート前、ゴール後の選手をサポート。

募集対象 / 18歳以上の元気な方(ただし、小中高生でも親権者同意があれば参加可)

申込方法 / ボランティア登録申込書に必要事項を記入のうえ、事務局に郵送、Fax、E-mailなどの方法で提出。

申込・問い合わせ先 / 517-0501 志摩市阿児町鷓方1377-5 志摩ロードパーティー実行委員会 ボランティア受付係 Tel.0599-43-0400 Fax.0599-43-4449

E-mail shimajc@violin.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.shimarp.jp/>

「津市の学校・通学路安全サポーター」登録団体・企業の募集

近年全国的に、学校への不審者侵入、通学途中の児童を狙った犯罪など、子どもが犠牲となる事件が多発しており、子どもが安心して学ぶことができる学校・地域づくりが緊急の課題となっています。本市の学校においては、教職員の危機対応能力の向上をめざした研修及び訓練の実施、警察や警備会社等と連携した児童生徒への防犯教室の開催、児童生徒の危険予知能力の向上をめざした地域安全マップづくりの取組など、様々な取組を行っています。また、各小学校区単位で学校・保護者・地域住民等によるパトロール組織の結成が進むなど、地域ぐるみの学校安全体制の整備も進んできています。このような状況の中、市内に所在地を置く団体・企業を対象に、「津市の学校・通学路安全サポーター」を募集し、学校・地域の取組を支援していただくことで、地域ぐるみの学校安全体制の一層の強化を図ります。

●対象、活動内容／津市内に所在地を置き、学校・地域における子どもの安全確保の取組を継続的にサポートできる団体・企業を「津市の学校・通学路安全サポーター」団体・企業として登録し、活動していただきます。

- (1) 通学路等の防犯パトロールの実施
- (2) 子どもの緊急避難場所の提供
- (3) 防犯に関する研修会・講習会等の実施
- (4) 地域の環境整備の実施
- (5) 防犯グッズ等の物品の提供
- (6) その他、学校及び地域における子どもの安全確保の取組に対するサポート

●登録締切／3月10日(金)

●申込・問い合わせ先／514-8611 津市西丸之内23番1号
津市教育委員会事務局教育研究支援課 生徒指導担当
Tel.059-229-3293

●応募方法等／配分申請書の様式等は郵送またはE-mailにて、住所、氏名、会の名称、電話番号、希望の送付方法(郵送またはE-mailに添付)を下記まで連絡するか、下記のホームページよりダウンロードして使用。応募は必要事項を記載した配分申請書に添付資料を添えて、配達記録郵便にて下記問い合わせ先まで送付。

●問い合わせ先／日本郵政公社 金融総本部 郵便貯金事業本部 ボランティア貯金・お客さま相談担当 100-8798 東京都千代田区霞が関1-3-2 Tel.03-3504-4137・4097 E-mail posiva@japanpost.jp
ホームページ <http://www.yu-cho.japanpost.jp/volunteer-post/>

ヤマト福祉財団 障がい者福祉助成金

●受付期間／平成18年3月1日(水)～3月31日(金)消印有効
但し、奨学金の供与受付は5月10日(水)まで

●助成の対象／【1、一般助成】障害者の自立と社会参加及び生産力アップなどに直結する事業を優先。

- (1) 障がい者施設の改善、整備、備品などの購入に対する助成。
- (2) 各種会議、講演、研修事業に対する助成。
- (3) 各種出版、啓発活動などに対する助成。
- (4) 各種調査、研究事業に対する助成。
- (5) 文化事業、スポーツ活動などに対する助成。

【2、障がいのある大学生に対する奨学金の供与】

●助成の額／1は1件あたり上限100万円。2は月額5万円(年間60万円。返済の必要はありません)

●応募方法／1は助成金申請書を郵送にて申込む。2は奨学金申込書に必要事項を記入し、所定の書類を取り揃えのうえ、郵送にて下記まで。なお、助成申請書は申請書は下記まで請求するか、ホームページからダウンロード。奨学金申込書用紙は下記までFax、E-mailにて申込むこと。

●問い合わせ先／(財)ヤマト福祉財団(福祉助成金事務局)

104-0061 東京都中央区銀座2-12-15
Tel.03-3248-0691 Fax.03-3542-5165
E-mail y.zaidan@yamatofukushizaidan.or.jp
ホームページ <http://www.yamato-fukushi.jp/>

農村景観・自然環境保全再生パイロット事業(予告)

NPO等が農村地域で行う、景観や自然環境の保全活動等に対する助成制度が平成18年度よりスタートします。

●受付締切／採択要件や手続き等の詳細は、平成18年4月以降に明らかにします。

●助成の対象となる団体／NPO法人等

●助成の対象となる活動／主として農業振興地域で、市町村が設定している田園環境整備マスタープランの環境創造地区等で行われる活動。

- 1、景観保全に向けた活動(植栽・棚田の保全活動、研修等)
- 2、自然再生活動(生き物調査・水質調査・自然体験活動・ピオーブづくり等)

●助成の額／活動にかかる経費の2分の1以内(上限額を検討中)

●問い合わせ先／農林水産省東海農政局農村整備課 460-8516
愛知県名古屋市中区三の丸一丁目2番2号 Tel.052-201-7271(内線2664) ホームページ <http://www.tokai.maff.go.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で発行されているほか、ホームページやアクセス/サービスマニュアルでも閲覧できます。(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

助成金 ニュース

平成18年度三重県文化振興基金活用助成事業

●受付締切／平成18年3月15日(水) 必着

●助成の対象となる団体／県内の文化団体(実行委員会形式を含む)で、次の要件に適合するもの。(1)県内に住所または活動の本拠を有すること。(2)一定の規約等を有し、代表者が明らかであること。(3)団体の意志を決定し、執行する組織が確立していること。(4)自ら経理し、監査する等会計組織を有すること。(5)継続して活動を行う見込みの団体であること。

●助成の対象となる活動／文化活動の発表や団体の交流、文化にふれあう機会の提供など。

●対象事業の期間／平成18年4月1日～平成19年3月31日

●助成の額／団体自己負担額の2分の1以内で上限20万円。

●応募方法／申請様式は、各市町の文化担当課や各県民局の生活環境森林部で入手するか、三重県のホームページ(<http://www.pref.mie.jp/>)トップページの左下【申請・届出の総合窓口～電子申請・届出システム～】→【組織からさがす】→【生活部】→【文化振興室】からも『申請書様式』を印刷できます。応募は各団体の事務所等の所在する各県民局生活環境森林部生活環境(生活)室へ。

●問い合わせ先／三重県生活部文化振興室 Tel.059-224-2176
Fax.059-224-2408 E-mail bunka@pref.mie.jp

平成18年度国際ボランティア貯金の寄附金配分団体の公募

●申請の受付締切／平成18年3月15日(水) 当日消印有効

●助成の対象となる団体／次の要件をすべて満たしていること。

1、民間の発意に基づく開発途上にある海外の地域の住民の福祉の向上に寄与するための援助(天災その他、非常の災害が生じた場合におけるその災害を受けた海外の地域の住民の緊急の需要を満たすための援助を含む)に関する事業を実施する、営利を目的としない民間の団体であること。

2、日本国内に事務所を置き、かつ、代表者が定められ、意志決定及び活動の責任の所在が明確であること。

●対象となる事業の実施期間／平成18年7月1日～平成19年6月30日

各地のネットワークから

松阪市

松阪市市民活動センター
515-0084 松阪市日野町788 カリヨンビル3階
Tel.0598-25-3801 (お問い合わせ時間 月から土曜日10:00～22:00)
Fax.0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

松阪市市民活動センターは、2月より市民活動団体(センター登録団体)が共同で運営するお店「団体アピールショップ」を設置しました。市民活動団体の活動に関連した商品を通して、地域社会に広く発信しながら、団体の自立に向けた自己資金作りの場を提供しています。出店団体は、「松阪チャレンジドプレイス・希望の園」、「エイサー松阪八部衆」、「あさみまちづくり協議会準備委員会」の3団体で、野菜やお米など農産物のほかにTシャツ、ステッカー、絵画などオリジナル商品

もたくさんあります。
場所は同市民活動センターが入居しているカリヨンビルの1階です。(JR松阪駅徒歩4分)。
営業時間は、毎週火水木の午後13時～18時までです。
なおその時間帯には、出展団体のメンバーもお店に常駐していますので、商品や団体情報など直に聞くことができます。ぜひお気軽にご来店ください。





いせ市民活動センター

パーティいせ情報

■休館日/毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)
 ■開館時間 午前9時から午後10時 <http://skc.e-ise.net>

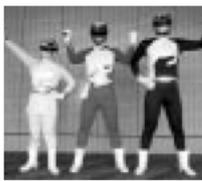
3月3日★パーティ(南館)1階に、再びリニューアルオープン ついにパーティマーケットが、 「パーティ」内に開店します!

- 営業時間: 10時～5時
- 定休日: パルティと同じ
- 場所: いせ市民活動センター
 パルティ1階

●市民活動の活動資金をつくるためのお店です

伊勢市駅前から、しんみち商店街へ、場所を借りながら試行してきましたが、ようやくこの3月からいせ市民活動センター南館1階でパーティマーケットをオープンできることになりました(公共施設なので、なかなかたいへんです)。このマーケットは、活動資金づくりや活動の一環としての販売をしたいという団体への支援をするお店(雑貨屋さんみたいな感覚で利用してくださいね)で、6つの団体が参加しています。パーティへ立ち寄ったついでにお店を見てもったり、お店に来たついでに、いろんな活動を知ってもらったり、そんなことも期待しています。ぜひ、のぞきにきてくださいね。

**4月8日(土)9日(日)は
 大人気の地域物産イベント
 「伊勢祭市」が開催されます!**
 それにあわせてパーティもイベント的な企画を
 計画中です。伊勢市外の方もどうぞお越しください

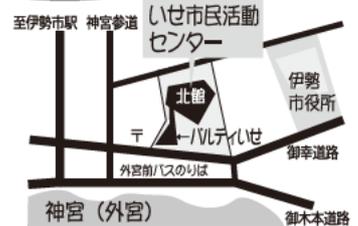


**PONPON presents
 伊勢志摩NPOアワード2006**
 伊勢志摩NPOネットワークの会では、活躍したNPOや個人を表彰し、地域のヒーローとして認定しています。今年度は、伊勢志摩で活躍するヒーロー、『観光戦隊イセシマン』が受賞。1月の新年例会にて表彰式を行いました。イセシマン!よろしく!

いせ市民活動センター パルティいせ

伊勢市岩淵1丁目2番29号
 TEL 0596-20-4385
 FAX 0596-20-4386
 Email/skc@e-ise.net

合図、情報発信中...
 chchご利用ください!



このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

W.T.Aまちづくりセンター (45) 代表 中島 洋
 〒518-2869 伊賀市上野 福居町 307 (メールボックス)
 Tel: 0595-24 2812, 090 3302-0227 (Fax: 474-38 xiba co.jp)

3月23日(水)には、もしかたに
 田舎場をのりかえられた方、お話を
 聞かせてください。また、新しく社会人
 になる方、進学される方など、環境
 の変化もあるかもしれません。お
 互いに長年の小学校卒業もあり、
 17年、変化が激しいので、お互い
 楽しんで生きていけるよう
 と、協力したいと思います。
 田舎場をのりかえられた方、変化が
 ありましたら、またご連絡下さい。
 伺いたらいまします。ご迷惑
 ありません。ご迷惑ありません。
 (Tマ 元気張って下さい)

3月22日(水) 13:30 アサヒ3F
 県外から車で行かれる方、お話し
 して頂きたいです。今後、おま
 りりご迷惑...というご迷惑
 ありません。ご迷惑ありません。

3月11日会議の記録
 (3月28日(水)12:30～ 伊賀市駅前)
 (4月5日(水)12:30～ 伊賀市駅前)
 伊賀市のまちづくりセンターのありさま
 交通の3つ(南館)もいろいろ
 3/20には、石原会もいろいろ
 3/20には、石原会もいろいろ

中島洋 連絡先
 〒518-2869 伊賀市上野 福居町 307
 TEL: 0595-24 2812, 090 3302-0227
 FAX: 474-38 xiba co.jp

伊賀市市民生活と市民活動支援センターと、当センターとの協力の準備にとり
 たいです。市民生活協議会への支援として、情報発信に
 力を入れています。これから市民生活とまちづくりの
 関係が、お話し合いも、解決しているところ...と、考えました。
 伊賀市...と、お話し合いも、解決しているところ...と、考えました。
 伊賀市...と、お話し合いも、解決しているところ...と、考えました。

伊賀市市民活動支援センター

3月です。支援センターも開設1年まであと少し、
 データとして利用実績が集まっていますので、
 開館曜日の見直しをはじめとする次年度での検討課
 題がいくつか出てきております。
 また、各支所との調整も図りつつ、住民自治や市
 民活動への支援の取り組みを進めてまいりますの
 で、今後ともよろしくお願いいたします。



2月16日に開催しました労務研修会のご
 報告は、4月号でさせていただきます。あ
 わせて伊賀市のホームページでも資料等、
 アップしますので、ご利用ください。

支援センターのブログ、開設しました♪
 担当職員の勤務日に更新しています。
 少しずつですが、情報を蓄積していくために取り
 組んでおりますので、ご覧ください。
 アドレスは、<http://blog.goo.ne.jp/igasksc>です。

〒518-1395 伊賀市馬場 1128 多目的集会所内
 TEL: 0595-43-1135 FAX: 0595-43-2205
 Eメール: igasksc@lct.ne.jp
 ホームページ: <http://www.city.iga.lg.jp>

休館日: 月曜日・年末年始(臨時休館あり)
 年末年始の休館日は、12月28日～1月4日。
 開館時間: 午前9時から午後9時
 (ただし、午後5時以降は前日予約が必要です)



▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。中国広東省を中心に、様々な国の人と交流を行っている大山田国際交流友の会の東準一さんが紹介してくださったのは久保美文さん。趣味で始めた竹細工をきっかけに、人との繋がりを広げています。

欲しい人は持って帰って。竹細工を温泉で実演。

……竹細工を始めたきっかけは？

10年ぐらい前に趣味で出入りしていた信楽町の山野草のお店で、竹でできたトンボの置物を見たのがきっかけです。お客さんが作って持ってきたらしいのですが、それを一つもらって、見よう見まねで作ってみました。作った物をそのお店に「欲しい人がいれば、あげて」と置いてくるようになり、もう500個ぐらい、置いてきました。

……見た瞬間に、自分で作れそうと思ったのですか？

1点で上手にバランスを取っていて、おもしろいなあと。元々、手仕事が好きでお茶の茶筌や茶さじ、一輪挿しなども自分で作ったりしていましたから、まあ作れるかなと思いました。

……作った物を販売しようとは思わなかったのですか？

当時は消防署に勤めていましたし、竹細工で商売をしようと思ったことはありませんね。自分の時間に好きに作って、気に入ってくれる人に使ってもらえれば、それが一番いい。そうやって作り続けているうちに、さるびの温泉内で実演をするようになりました。

……何年前からですか？

4年ぐらいでしょうか。以前、息子が大山田温泉福祉公社が経営するさるびの温泉に勤めていたという関係もあって始めました。

……作っているのはトンボの置物だけですか？

飛ばして遊ぶ竹とんぼのほかにも、小さなカニやカメ、クワガタ、スズムシなどの昆虫の模型なども作っています。

……何かを参考したのですか？

模型の方は竹細工の本を見て作りました。

……細かい作業ですね。

足などは一つひとつ穴を開けてから、小さな枝を一つひとつ差し込

んであります。

……評判はどうですか？

案外、好評ですね。トンボの置物を初めて見た人は「どうやってバランスを取っているの？」と驚かれます。作っている方としてはあまり難しいとも思っていないのですが(笑)。竹とんぼは一度に3~4つも持って帰ってくれる人もいます。「孫にあげたい」って。以前、津市の小学校で校長をされている方が見えた時は、小学校の子どもたちに遊ばせてあげたいって10個ばかり持ち帰られましたよ。子どもたちが喜んで遊んでいますと、お礼のお手紙もいただきました。

……実際に子どもたちが作ってみる教室は企画していないのですか？

最初から作ると思うとドリルや小刀が必要になりますからこちらから「作ってみる？」とは、言いにくいですね。竹は木材より固くて、子どもには扱いにくいのでケガが心配です。でも、ハネや胴などの部分は私が作って、後は組み立てるだけにした半完成品は用意してあります。

……さるびの温泉以外では行っていないのですか？

旧上野市の羽根で秋に行われている収穫のイベントに行ったり、大山田農業小学校でも一度、竹細工教室を行いました。出店した所でつきあひもできて、おかげで人の繋がりが増えました。

……竹細工教室はどんな雰囲気でしたか？

この時は竹とんぼを作ったのですが、材料はあらかじめ切りそろえていって、教室では親子でハネの部分を削ってバランスを取るなど、仕上げを行ってもらいました。子どもでも上手に小刀を使う子もいれば、そばで見ている「どうしようかな？」と思うような、刃物を使ったことのない子どももいましたけど、親も子も一生懸命作ってましたよ。できあがった後は、みんなで竹とんぼを飛ばしあい。僕も「おっちゃんと勝負して勝ったら、竹で作った模型をあげるわ」って約束して、勝負しました。まあ、わざと負けてあげたりしたのですが、子どもは「勝った、勝った!」って喜んでました。

……ほかで教室を行ったことは？

声が掛かれば喜んでいきますけど、最近あまり声が掛かりません(笑)。学校の総合学習などにもいいと思いますから、地元の学校にも声を掛けてみましたが、やはりケガのことを考えるのでしょう。でも、声が掛かった時にすぐ行けるよう、道具を使わずにカンタンに組み立てられるように、材料は20~30個分は切りそろえて用意してありますよ。

竹とんぼはヘリコプター

……材料はどうしているのですか？

山の近くに住んでいますから竹は無尽蔵にあります(笑)。細工に使うには乾かす必要があるので、秋口から正月までに竹を切り、1年ほど寝かせたものを使っています。

……竹の善し悪しなどもあるのですか？

目がまっすぐに通った物でないと細工に使えませんから、素材である竹を見る目を養わないといけません。よく、竹を割ったような性格と言いますが、スパンとまっすぐに目が通った竹はめったにないのです。

……細工自体も難しいと思うのですが、トンボの置物などは作るの

久保美文 さんに

聞く



にどのくらいかかりますか？

それぞれ部品を作り置いてから形づくっていくことが多いのでよくわかりませんが、最初から最後まで根を詰めてやれば30~40分くらいかかるでしょう。

……部品は別々に作るのですか？

ハネならハネで数十個、胴は胴という風に用意しておきます。

……一度にたくさん作るなら、作業場も必要ですね。

自宅から少し離れた所に、材料や道具類を置いてある所があります。作業はそこでやっています。

……道具もたくさん必要でしょう？

ノコギリ、小刀、キリ、電動ドリルくらいかな。

……細工の工夫などを教えてください。

よく見てもらうとわかんと思いますが、竹とんぼは2種類作っています。一つはハネがまっすぐで、ひねりだけが入っている昔ながらのタイプ。もう一つはハネが八の字に形づくってあるうえに、ひねりが入っているスーパー竹とんぼです。この竹とんぼは亀山市関町の佐藤さんという方に教えていただいたのですが、元は東京大学工学部の教授が設計したそうで、良く飛ぶんですよ。

……竹とんぼ作りのポイントは？

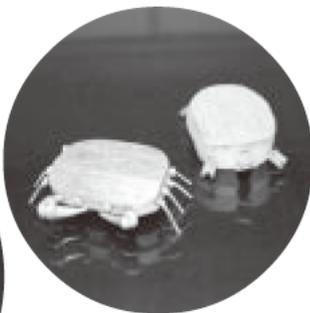
一番大事なのは重心です。ハネの長い辺の真ん中と短い辺の真ん中に軸が来るようにしないとぶれてしまって飛びません。コマと同じでバランスが大事です。あと、ハネの重さと軸の重さの差ですね。軸の方が、ハネよりもわずかに重くないといけません。頭でかちでは飛びませんし、逆に軸の方が重いとひっくり返ってしまって飛びません。

……何度も飛ばしては削って、重心を決めるのですか？

飛ばさなくても重心が真ん中に来ているかどうかは、テストできますよ。細い棒の上にハネを乗せて、バランスが取れているか見れば良いのです。

……その他に工夫は？

ハネのひねりで、滞空時間の長いものや、空高く上がるものなど、作り分けることができます。ひねりの角度が急角度なものは、高く上がるようになります。この場合、角度の抵抗があるので高く早く上がって、早く落ちてきます。逆に角度が緩やかな物は空中に長く浮くことができます。この竹とんぼを使って、キャッチボールのようにやりとりして遊ぶこともできますよ。実は竹とんぼの技術や理屈はヘリコプターと同じなんです。飛行機は推進力があれば空を飛べますが、ヘリコプターは垂直と水平の力が等しくならないと浮きません。ホバ



久保さんのつくったトンボの置物と、カニ・カメラの模型。

リングという、空中で同じ場所で浮いていることができないのです。重心がずれると行き先がぶれてしまうのも、竹とんぼと同じです。

……子どもたちにもそんなお話をするのですか？

いや、子どもたちにはただ「ハネの真ん中に軸が来ないと、ちゃんと飛ばないから気をつけて」というだけです。

……竹とんぼも奥が深いものですね。

パツと見るとそうは思わないでしょう？さるびの温泉で実演していても、年輩の女性に「なんだ、竹とんぼか」って言われたりもしましたよ。大人がそんな風に言ってしまうと、一緒にいた子どもも、これはつまらない物なんだって見てしまいますから、つらいですね。自分で作ったことが無い人なんですよ。こちら少しムツとしますが、「じゃあ、やってみて」とまでは言いません(笑)。まあ、つまらない見方しかできない人なんだなあと思うだけです。

……逆に喜ばれることもあるでしょう。

もちろん、ありますよ。それに、竹とんぼには興味を見せない方でも、物が違えば別。ギョギョトンボと言うおもちゃがあるのですが、これは棒の上に小さなハネがついています。棒の部分に細かく溝が切ってあるのですが、これを別の棒でこすると、左側をこすれば、ハネが左に回り、右を回せば右に回るのです。これを見せた時は、「竹とんぼなんか」と言った方も「これは、どうなってるの?」って言っていました(笑)。

……久保さんの技術を教えたりはしないのですか？

習ってくれる人がいれば、教えますよ。誰でも同じだと思うのですが、みんなそれぞれに持っている技術ってありますよね。農業なら、いかに旨い米を取るかという技術。山に入るなら、いかに上手に枝を落として、一人前の山にするかという技術。そんな技術を持っている人はいっぱいいると思うんです。世知辛い世の中、人のために動こうという人は少ないかもしれませんが、その技術は人に見てもらわないといけなと思います。自分で持っている、知っているだけでは埋もれてしまいますからね。その力を発揮する場所や、発揮する人がどんどん出てくれば良いなあと思います。

久保美文さん

住所／伊賀市川北

Tel.&Fax.0595-47-0716

久保美文さんはこの人を**紹介**します。

一見八郎さん

久保さんとはスーパー竹とんぼ繋がりという一見さん。竹細工のほか、環境ボランティアや道の駅の駅長さんとしても活躍しています。

自分の時間に好きに作って、気に入ってくれる人に使ってもらえれば、それが一番いい。



久保さんが手に持っているのがスーパー竹とんぼ。下が普通の竹とんぼです。

おねがい

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までに送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknpo@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。